

第2号

ほっとほ〜む

<発行> 社会福祉法人 大阪福祉事業財団 高鷲学園 ☎ 072-953-3881 FAX 072-953-3882
 <発行責任者> 園長 瀬川 佳成 Eメールアドレス takawashi@miracle.ocn.ne.jp
 〒583-0885 大阪府羽曳野市南恵我之荘2丁目6番20号

新しい住環境になって6カ月!

秋も深まり、寒さを感じる季節になりました。

子どもたちは二学期を迎え、みんな元気に幼稚園、小中学校、高校に通っています。不登校で行けない子どもたちがいた時期もありましたが、今は寝坊などであわてて飛び出していくといった程度です。たくさんの子どもたちがいまです。毎日てんやわんやではありますが、全体的には落ち着いた生活を

送っています。

現在の児童数は94人(110人定員)で、幼児が17人、小学生が37人、中学生が20人、高校生が20人います。中学生の部屋は満室ですが、幼児と小学生にはまだ空きがあります。

さて、新しい園舎で生活をはじめて6カ月がたちました。この間、旧園舎であれば大ごとになったと思われることが二つありました。

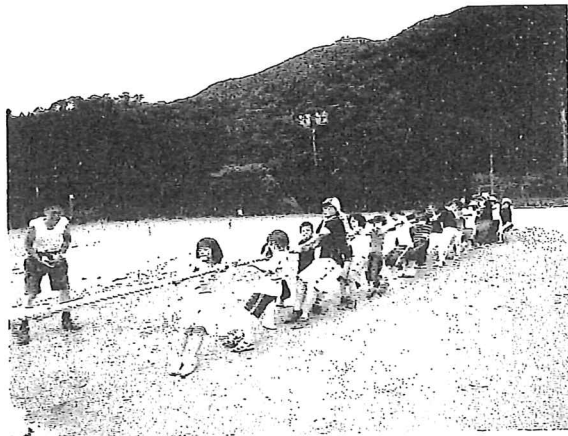
一つは、8月下旬学園でも発生した新型インフルエンザです。全体に感染するだろうと覚悟しました。ところが、発症は中高生少数にとどまり、あまり拡大しませんでした。職員がきちんと対応したことはもちろんですが、中高生居室の個室に分離できたこと、二つある風呂とトイレの片方を病気の子どもにしたこと、さらに空調設備による換気が功を奏したと思います。もう一つは、久しぶりの台風襲来です。結果的には少しそれて大事

には至りませんでした。大雨による雨漏りに泣かされることもガラス戸の破損等を心配することもなく夜を過ごすことができました。

建て替わってよかったと本当に思います。二つの出来事だけでなく、日々の生活の中でも、安心して暮らせる住環境が子どもたちの情緒の安定につながっていると感じられる場面がたくさんあります。

多くの方々に協力いただいた新園舎で、子どもたちが自分の境遇に負けずに成長していけるように、私たち職員はしっかりと支援していきたいと思えます。今後ともあたたかく励まし、見守っていただければ幸いです。

(園長 瀬川 佳成)



“みんな頑張ったキャンプ” 大運動会!

2・3面に掲載



学園ブロック



夏のキャンパスに 行ってきました

高鷲学園では、毎年夏休みに田舎の廃校を利用して夏季合宿を行っています。今年からは、和歌山県龍神村の中学校を利用しての合宿となりました。

例年であれば小学生と中高生の日程を分けて少人数で行っていましたが、今年度は新しい試みとし



て学園の学童（小学1年生から高校3年生まで）大人も含め総勢92名の全体で移動し、生活の場所を移すという目的で7月30日から8月3日までの4泊5日で行いました。中学校の廃校という事で広いグラウンドや体育館を利用したり、豊かな自然環境の中で虫捕りや散歩といった普段大阪では経験できないことを体験しました。

職員も学校のクラブの関係で残る子どもを看る職員以外は全員参加し、大人も子どもも一体となり充実した合宿となりました。何より気温が大阪にいるときと全く違うということ、今後高鷲学園の避暑地として毎年利用していきたいと思えます。今年度の反省を生かして来年度もよりよい合宿としたいです。

(ディレクター 辻本成祐)

高鷲大運動会

開催!

キャンプ地は火が使用できず、毎年行われていたキャンプファイヤーや花火などの行事ができませんでした。その中で、以前に学園



で行われていた運動会を「高鷲大運動会」という名前に変えてやってみようという話になりました。

はじめての試みでしたが、当日は朝早くから男の子達が連日の雨で濡れたグラウンドの整備をしたり、高校生が中心となり、紅組・白組・緑組・黄組の4チームに別れて障害物競争や綱引き、リレーなどの種目をしました。

小学生はもちろん、普段運動しない高校生、さらには職員までもが熱くなり大盛り上がりでした。

最後には表彰式を行い、今年優勝した紅組のキャプテンに優勝トロフィーと目録を渡し、集合写真を撮りました。他のチームも写真を撮り、みんなの良い思い出になったと思います。

キャンプから帰って来てからも子どもたちに「何が楽しかった？」と聞くと、多くの子が「運動会めっちゃ楽しかった!!また来年もしたい!!」と答えていました。

←今年優勝の紅組 おめでとう!



(学童2Fブロック 田中大司)

幼児ブロック

のんびりとした

幼児キャンプに



7月27日から30日までの3泊4日で幼児ブロックの幼稚園児を中心とした8名で和歌山県加太にある前園長井上先生の家をお借りして、夏季合宿を行いました。

あいにくのお天気の中でのキャンプとなりましたが、晴れ間を見つけては磯に行つてカニやヤドカリを捕まえたり、灯台まで散歩に行き広い海を眺めたり、海水浴に



出かけて砂に埋まったり職員と泳いだりしました。大きなスイカをみんなで切つて食べたり、バーベキューをしてお肉をいっぱい食べたりと、思い出に残る体験ができたと思います。

残った7名の子は、園内で水遊び、バーベキュー、花火、わたがし、スーパースポーツ、かき

河内会交歓ソフトボール大会 来年に思いを託して

毎年8月末に河内会の児童施設のソフトボール大会が行われます。

高鷲学園は長い歴史の中で入賞経験が少なかったのですが一昨年は23年ぶりの優勝、そして昨年は準優勝と好成績を収めています。

今年度は、一昨年の優勝カップを取り戻すため日々練習を積み重ねてきました。またソフトボールをした子どもも増えて今年度は高鷲学園より2チーム出場し大会に挑みました。結果は、残念ながらAチームが1回戦で3対2と接戦を物にできず悔しくも初戦で敗退しました。Bチームは1回戦は勝利しましたが、2回戦で敗れ3位決定戦でも敗れ4位に終わりました。

氷等の手作り緑日ごっこを楽しみました。いつもより少ない人数でのんびりとほっとした4日間でした。しばらくの間子ども達からは「わたがし食べたらい」「線香花火きれいやったで」と声がたくさん上がっていました。

(幼児ブロック 中村哲也)



した。子どもたちの目は悔しさで一杯でしたが、来年こそはという闘志が伝わってきました。今年が最後の高校3年生は、今年こそはという意気込みで、練習時からチームを引っ張り、本番に向けてチームを盛り上げてきました。しかし、力及ばずに悔しさを噛みしめている姿がとても印象的でした。来年は新たにチームを立て直し、挑戦者という立場で大会に挑みたいと思います。
(ソフトボール部監督 辻本成祐)



財団後援会の更新 入会のお願い

会員の皆さん、いつも子ども達に暖かい御支援をありがとうございます。
建て替えは終わりましたが、ひきつづき皆さんの力で、高鷲学園を支えて下さい。継続のまだの方がおられましたらご協力をよろしく願います。

調理ブロック

手作り餃子 600個



一口年間3000円です。
当園ではさまざまな理由で入所してきた子どもたちが、家庭的な雰囲気の中で生活が送れるように、園全体でとりくみをしています。
調理職員のとりくみのひとつに「食」の安全が問われるなか、できるだけ加工品に頼らず手作りに力を入れていきます。

子どもたちのリクエストである「餃子」は包む数600個と多いのですが、他の作業も並行させながら完成させていきます。子どもたちの「おいしかったよ」の言葉が作業の大変さを忘れさせてくれます。

(調理ブロック)

伊与田恵津子

NHK歳末たすけあい義援金の 配分による事業完了のお知らせ

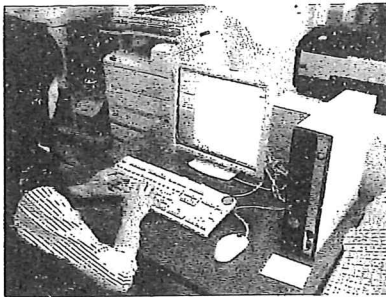
このたび社会福祉法人大阪府共同募金会から、平成21年度NHK歳末たすけあい義援金の配分を受け、左記の事業を完了致しました。
ここに事業完了のご報告を申し上げ、ご支援を賜りました関係者の皆さまに感謝の意を表します。

記

- 一、事業名 パソコン・プリンタ整備
- 一、整備機器 パソコン11台 プリンタ8台
- 一、事業費総額 278万400円
- 一、配分金額 150万円
- 一、施設名称 高鷲学園
- 一、施設所在地 羽曳野市南恵我之荘2丁目6番20号
- 一、完了年月日 平成21年9月30日

社会福祉法人大阪福祉事業財団

理事長 實 徳左



寄付金・寄贈・招待をいただいた方
(2009年7月〜9月)
ありがとうございます。

(敬称略)

寄付金

H・A (大阪市)

K・U (羽曳野市)

寄贈

N (電子オルガン)

M・N (自転車)

㈱タマス (卓球台)

竹田誠 (サッカーボール)

今在家婦人会

西向野地蔵盆会

大阪なにわロータリクラブ (冷蔵庫)

招待

㈱ガンバ大阪 (稲本シート)

大阪新梅田ライオンズクラブ (野球)

ゴールドマン・サックス証券㈱ (野球)

㈱拓洋 (野球)

ほっとひとこと

職員にとっては嵐のような夏休みが終わり、2学期が始まり、子どもたちは運動会や文化祭に日々忙しく過ごしています。
ほっとほ〜むは第2号の発行に至り、1号を見て幼児に自転車を買ってくれた卒園生の方や、自転車を遠方から届けてくださった方もいました。ほっとほ〜むが伝わっているという喜びとともに、責任感を感じました。

(w・k)